

保護者各位

鳥取西小学校 校長

高島 昌之

シリーズ⑦/8回 : プロセス主義

自己肯定感を高める子育てとは？

プロ野球などで、「プロは結果が全てだ」とよく言われるが、**結果主義とは、結果が全てと考えるものである。**学校でも結果にこだわる子どもが何人か見かけます。85点のテストをもらって破り捨てたり、体育の50m走で周りに勝てないと分かると走るのを止めたりなどがあります。他にも「どうせやってもできないし」と結果を見越して、やろうとしない子どもは少なくありません。

プロセス主義とは、結果にこだわらず最後まで自分の力を出そうとする姿です。結果を恐れるのでなく、力を出しきらないことを恐れる。プロセス主義の生き方は、「**出し切り感覚**」といって自分の力を出しきった経験を多く積むことで、全力をだすことを優先する生き方のくせがつかます。この生き方は、手を抜くことがもどかしくなり、やりきることが気持ちよいと思うものです。

大人には、「結果主義」で関わる人と「プロセス主義」で関わる人がいます。

結果主義 : 「何だ、この点数は！」「これしか点数取れないの？」

「代表に立候補？無理、無理、やめなさい！」

プロセス主義 : 「時間最後まで考えられた？」「次のテストまで何を頑張る？」

「立候補？今のあなたじゃ厳しいけど本気なら応援するよ」

プロセス主義の生き方になる子どもの育て方

1. 「かも連鎖」を言葉の最後につけてあげる

『できる**かもしれない**し、できない**かもしれない**、でもどうせやるなら最後まで頑張ってみよう！』

2. 「予期不安」を取り除く 【予期不安とは、未来を考えて不安になること】

『どうする？この後の取り組みで〇〇となる**かもしれない**けど、どのように取り組む？』（先にあるリスクを想定内にしてプロセスに注目する）